

弥富市事務事業評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	33	-	9	事務事業名	シルバー人材センター育成事業	細事務事業名	シルバー人材センター育成事業	公的関与	9	シート作成日	平成29年6月14日				
	課名	介護高齢課			グループ	高齢福祉			担当課長名	半田 安利		シート作成者名	田畑 由美子			
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input type="radio"/> 5 施設の管理運営			事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input type="radio"/> 4 経常的事務事業						<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ			実施計画			事業の開始・終了							
		施策項目	高齢者支援の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当			平成	年度	~	平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策	地域支援事業の推進			<input type="radio"/> 2 非該当			根拠法令等		弥富市シルバー人材センター補助金要綱					
	個別計画	第6期介護保険事業計画・高齢者福祉計画														
	事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)										
		○弥富市シルバー人材センター				○高齢化の進展に伴い、退職後の高齢者等に就労の機会を提供するシルバー人材センターに対して、運営費を補助することにより、センター事業の円滑な運営を図り、高齢者の生きがいづくりを支援します。										
事業の内容	○シルバー人材センターに対して、運営費及び事業費を補助します。															
成果指標	①	指標名	登録会員数				②	指標名								
		指標設定の考え方	この事業は高齢者の能力及び知識を社会に生かすことを目的としているため、本事業の指標設定を登録会員数としました。					単位	人	指標設定の考え方						
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	目標平成 30 年度	平成 27 年度		平成 28 年度	平成 29 年度	目標平成 30 年度						
		実績	234	実績	223	目標		246	目標	248	実績		実績		目標	
		目標	242	目標	244	目標			目標		目標		目標		目標	
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3	民生費	項	3	老人福祉費	目	1	老人福祉総務費		
	直接事業費	平成 27 年度決算額			平成 28 年度決算額			平成 29 年度予算額								
		国・県支出金	千円			千円			千円							
		地方債	千円			千円			千円							
		その他特定財源	千円			千円			千円							
		一般財源	19,830 千円			20,204 千円			19,992 千円							
	計(A)	19,830 千円			20,204 千円			19,992 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.022 人			0.022 人			0.022 人							
		臨時職員工数・経費	152 千円			152 千円			152 千円							
		臨時職員工数・経費	人	0 千円		人	0 千円		人	0 千円						
全体事業費(A+B)	19,982 千円			20,356 千円			20,144 千円									

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価		
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	市の助成を前提として国からもシルバー人材センターへ補助金が支払われているため、市の助成は必要不可欠です。また高齢者の生きがいがづくりは、介護予防の一環として重要です。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	<input type="radio"/>		はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	<input type="radio"/>		はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	<input type="radio"/>		はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	高齢者に就業と生きがいがづくりの機会を与えることは、進展する高齢社会において自立した高齢者を増やすためにも重要であり、市民のニーズも高いと思われます。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている		会員数、受注額については変動のあるものの、概ね成果はあげています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている				
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない			<input type="radio"/>	あまり上がっていない				
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している			<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している				
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。	<input type="radio"/>	十分達成している			<input type="radio"/>	十分達成している				
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	高齢者の社会参加に大きく貢献しています。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		
	当面の課題	シルバー人材センターの事務費(自主財源)は、会員が仕事をして得る配分金(報酬)の8%であり、それだけでは運営上必要な人件費も賄えないシステムですが、補助金だけに頼ることなく自主財源の確保に努力をすることが望まれます。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)				
課題解決のための改善計画	自主財源の増強の方策は「会員を増やし、仕事を増やす」ことであるため、市主催の各種イベントへの出店などによるPR、そして現在活躍中の会員の「仕事の成果によるPR」を現在推し進めていきます。					高齢者の方々の働く場を確保し、生きがいのある生活支援を行っていく必要があります。そのためには、シルバー人材センターへの支援も必要です。自主運営という主旨からも信頼されるシルバー人材センターの組織づくりと、財政基盤の確保に努める必要があります。年金の支給年齢が上がり、60代前半の会員確保が難しくなっていますが、行政としましても、会員の確保など積極的なPRの必要性を感じます。					
備考											